

どすこいかわら版

発行 墨田区 編集 NPO法人てーねん・どすこい倶楽部



BIGSHIP開館5周年を迎えて

館長 山中みどり

区の出張所に隣接するリサイクル用具倉庫、この跡地に着目し、地域の人々が集い活動する拠点施設を造りたいと有志を募り「地域プラザを考える会」を平成20年に立ち上げました。紆余曲折を経て開館したのが平成25年秋、そして今年で5周年を迎えます。当初のメンバー50余名が、各々の「夢」「やりたいこと」「こんな場所が欲しいナ」を持ち寄り、いっそ全部積込んで未来へ漕ぎ出そう、という意味を込めて、巨大な船「BIGSHIP」と名付けました。また、「人と人をつなぐ」「心と体を

元気にする」「文化を発信する」という館の運営理念、目指すところを入り口に掲げました。

行政にお願いするだけではなく区民として自分達も汗をかくべきと考え、運営スタッフとして地域の人々が館の仕事をシェアして働いています。行政と住民とが協力して公共施設を管理運営し、高い稼働率を上げている成功例として、国内各自治体や、マレーシア、韓国、シンガポール等から議員や行政関係者が見学に訪れています。設計や設備について、我々の「運営力バナンス会議」の提案を共に協議し、ご協力いただいた墨田区には感謝しています。

私達の強みは、「地域に住む人のニーズを蓄えキャッチできる」、それに対して「柔軟に対応出来る」、そして、「地域に潜在している多様なマンパワーを見つけて、それを発揮していただく場がある」ということです。これらの地域力こそが

運営上の大きな力となっています。

最近、館のスタッフの1人がこんな事を言っていました。「自分は親の後を継いで長年ふとん屋をやってきました、店に来るお客さんと接するのが仕事だった。その後、町会の役員になって

「した」と云う方に『それは良かったですね』『ありがとう』。そんな会話を交わして、心が豊かになる。人生の最終章にこんな毎日があるなんて、何て素晴らしいのだろう」と。

いみじくも、これが私達BIGSHIPスタッフ全員の気持ちです。

地域の皆様と共にある顔こそがBIGSHIPを航海へ送っていただく順風となっています。ぜひおいで下さい、お待ちしております。

日のコンサート、感動しま



〒130-0004 墨田区本所1-13-4
電話 03-6658-4601 F A X 03-6658-4613
ホームページ <https://www.cp-bigship.net/>

「中年子育て奮闘記」その43 鈴谷 明

「保育園での集団生活⑧」

前回は、保育園で催される様々な行事について紹介しましたが、その中に「保護者会主催のミニコンサート」という行事があったのを覚えていらっしゃるでしょうか。現在、娘が通っている市立の保育園は、そう大きくない規模の施設ですが、「保護者会」が存在します。娘が3歳で入園した当時は、保護者会役員に選出されることがなかったため、会の存在自体は認識していたものの、実際にどのような活動を行っているのか、思いを巡らせることはありませんでした。

しかし、園で行われる各種行事に参加すると、何らかの役割分担の下にお手伝いしていらっしゃる親御さんの姿に接するようになりました。また、園から毎月発行されている「園だより」(保護者のために園の活動報告や連絡を掲載した新聞)に「保護者会イベント」という記述があるのも目に入りました。そこで改めて保護者会の存在を再認識するようになり、機会があれば、

ば、自分も何らかのお手伝いをした方がいいかなあ、などと漠然と考えるようになりました。

ところが、その「機会」は意外に早くやって来しました。

娘は、6歳になる年の4月に園で最年長のクラスに移動しました。それと同時に、新しいクラスの保育士の先生と保護者と

の懇談会も催されました。その際に、保護者会の新しい役員決めが行われたのです。

常々、小学校のPTA活動や役員決めにまつわる話題を耳にしていたので、若干緊張していたのですが、そこで感じたのは保護者会の位置づけが小学校とは大きく異なっているということです。保育園の場合、小学校のPTAのように大規模で組織化されている訳ではありません。

ん。園長先生の考え方に左右される面もあるのですが、基本は「平日は、お仕事でお子さんのお世話が難しい方々が利用するのが保育園。その保育園の行事のために、義務として平日に、保護者の方々のお時間を割いていたくのは避けた方がいい。」というものでした。

*保育制度は、自治体によって異なる場合があります。

手軽にクッキング 98

<12月のごはん>

「石狩ご飯」

<材料> 4人分 (1人分333kcal)

米	2合
水	2合分
酒	大さじ1
塩	1g
しょう油	小さじ1
だし昆布	5センチ
人参	2cm
まいたけ	1株
うす塩鮭	1切れ
白炒りごま	大さじ1
切りのり	少々



<作り方>

1. 米をといで、ざるにあげておく
2. 人参は、みじん切りにする
3. まいたけは、さいておく
4. うす鮭は焼いて皮と骨を取り除き、ほぐしながらフライパンでからいりする
5. 米に水、調味料、だし昆布を加え、2の人参と3のまいたけを加えて炊く
6. 炊き上がったらだし昆布を取り出し、細切りにする
7. 5のごはんに、4の鮭と6のだし昆布と白炒りごまを加えてかき混ぜる
8. 7のごはんを器に盛り、中央に切りのりをのせる

※お健やかな年末年始をお過ごしくださいますよう～!

(協力: 食育支援部)

「てーねん」つながるラジオ」片田 禎子

定年後、ボランティア活動が主体の日常で、家に居る時はラジオを聴きながら、家事や趣味の編み物、革を使った小物づくり等で時間を過ごすことが多いです。革では財布や保険証入れ・バック類等、普段から使うものを必要に応じて創作していますが、今は友人に差し上げるベストを編み込み模様を入れて編んでいます。

我が家にはラジオが4台あり、それぞれ役割別にAMのNHK、民放、FMの3局、もう1台は目覚まし時計がわりを使い分け置いてあり、場所も少し違えています。好みの番組内容にダイヤルを合わせ

てあり、操作はオンオフだけで済みます。狭い家ですが、手作業中のリズムを崩したくないので、最小限の動作にしているのです。

昼間のAMのNHKの番組は視聴者の投稿を織り交ぜたものが多く、みなさんの明るいノリやこだわったラジオネームに、笑ったり感心したりしてしまいます。常連さん達は周辺状況や実体験を取り上げる投稿内容が多いので、北から南まで、居間でつながっている一体感を感じています。台風の時などは「去って晴れてきた」とか、「突風で人が飛ばされていった」とか、台風の流れがリアルにわかるメールも読めます。

以前ボランティア仲間だった人の川柳が時々詠まれることもあります。仲間だった当時は、ボランティア活動が立ち上がった直後で落ち着かない環境だったこともあり、個人的なことは知ることがありませんでしたが、ラジオを通じて風流な趣味をお持ちと知

りました。

そういえば、今年2月に仲間が、NHKのラジオ深夜便に出ると言うので午前4時起きをして30分近く聞きました。また偶然、叔母の投稿を耳にし、几帳面な叔父と大ざっぱな叔母の老夫婦の日々をテーマにしている投稿には、「相変わらずやってますね」といつも笑ってしまいます。

目覚まし時計がわりに使っているものに関しても、以前は音楽に謡曲を選んでいまし



たが心地よく2度寝の失態で、今は何度聴いてもパワー負けして逃げ出したくなるような若者向き(?)音楽に変えました。クラシック音楽や邦楽が流れてくると、室内の空気や時間が穏やかになるようで、気分転換のお茶の時間が長い休憩になっ

てしまつてもしばしばです。回想にひたることも多々あります。

良き時代に社会と関わり社会に育てていただいたことに感謝の念と還元の意味を込め、ボランティア活動も続けていきたいと思っています。



「シニア人材バンク

登録者募集中」

ボランティア活動をしたい方の登録と依頼に応じた派遣を行っています。

パソコン、麻雀、将棋、子育て支援、日本語支援、家事援助、生活支援、健康教室のお手伝い、各種講座、講演会の企画から会場の準備作業など、どなたでも気軽に参加できる、さまざまな活動をしています。

皆様の知識、経験、特技、趣味等を地域で活かしてみませんか?

(4) 元気で100歳!! 墨田で生きよう!! 定年後の大きな生きがい発見!!

平成30年度 第5回 生きがい講座

フラワーアレンジメント講座

春のアーティフィシャルフラワー（造花）を使って 自分だけのフラワーデザインを創ろう!



【日時】平成31年1月30日（水）午後1:30～午後3:30

【会場】すみだリバーサイドホール会議室（区役所に併設）

【費用】1,000円（材料費） 【定員】20名

【持ち物】針金を切ることができるはさみ

作品（約20cm）お持ち帰り用袋

【対象】おおむね55歳以上の方

【大川 敏子氏：講師プロフィール】

- * 花文化遣島使（島根県）
- * 草月流師範会顧問
- * 日比谷花壇登録教室 主宰
- * 都内ホテルロビーの装花、横浜、埼玉で生け花フラワーデザインを指導

■ 申込み・問合せ：NP0法人て一ねん・どすこい倶楽部
〒131-0032 墨田区東向島1-17-8-2F
電話：03-5631-2577 / Fax:03-5631-2578
（受付時間：平日午前10時～午後4時）

■ 企画・運営：NP0法人て一ねん・どすこい倶楽部

■ 主 催：墨田区



発行 墨田区福祉保健部高齢者福祉課
〒130-8640 東京都墨田区吾妻橋1-23-20
電話 03-5608-6168

編集 NP0法人て一ねん・どすこい倶楽部
〒131-0032 東京都墨田区東向島1-17-8
電話 03-5631-2577 FAX 03-5631-2578
（受付時間：平日午前10時～午後4時）
メール tehnendosukoiclub@jcom.home.ne.jp
ホームページ <http://tehnendosukoiclub.jpn.org/>

壁に今年最後のカレンダー一枚が淋しげにぶら下がっています。この一年振り返ると、地震、水害、猛暑と大変な年でした。来年は新しい年号になります。穏やかな世の中を期待しましょう。

編集後記